

各館の「所蔵参考図書目録」の現状

—「所蔵参考図書」目録—

北川和彦

はじめに
I おいたち

II その構成と種類
III 各館の所蔵参考図書目録

はじめに

特定のことを調べたり、参照したりするのに直接的に役立つ図書で、通読することなく、収録している事柄が特定の配列方法に従って記述され、容易に検索できるよう編集されているものを通常、参考図書と呼んでいます。図書館におけるレファレンスは、口頭・電話・文書の形式で受理されますが、図書館資料に基づいて利用者の多様な生活に関連した多様な質問に答えることにより、図書館が広く利用者とは結びつくようになり、図書館資料の利用が大いに促進されるようになってきました。そのための手段として各分野の調査・研究の資料として、参考図書を積極的に収集し、レファレンス業務に役立てるとともに、利用者が迅速に必要とする文献にゆきつくよう、常に配慮がはらわれています。図書館側はそのための各種のレファレンス・ツールを備付

けていますが、特に利用者の立場からみると、図書館にどんな参考図書が備付けられているかを、いながらにして知りうることは、非常に便利であります。また図書館側からみれば、レファレンス・サービスの立場から、どこの図書館がどの程度のレファレンス・ツールを備えているかを知ることにより、利用者にとって適切な案内をすることができます。また自館のサービス対象に洩れ、欠くことのできない資料を発見できる利点もあります。『所蔵参考図書目録』はこのような目的のため発行されています。

そこで各図書館の『所蔵参考図書目録』がどの程度刊行され、利用者のために役立っているか、国立国会図書館に収集されている資料を中心に集めてみました。

I おいたち

大正13年から14年にかけて、波多野賢一氏の手により『参考図書の栞』が「図書館

研究」(芸艸会)第3巻～4巻に発表され、一般的な参考図書約100冊を解題しました。波多野氏は、これを基礎に、昭和2年3月『邦文参考書目録』を東京市立日比谷図書館からはじめて単行書として刊行しましたが、まだ小冊子(36頁)にすぎず、「未定稿」となっています。これがおそらく全般的参考図書目録のはじめであろうと思われる、非常に好評を博したといわれています。参考図書の定義を広義・狭義にわけて分類し、そのなかからきわめて特殊な事物に関するものなどを除外しています。そして目録の要件として完全な索引・目次の必要性を強調し、これなくしては検索捜求にのみ労を費して目録の本分を全うし得ない(序文)と述べ、五十音順の書名索引を付しています。記載内容はかんたんですが、その利用上便なるものを厳選し、収録図書が市立日比谷図書館の蔵書を基礎としているので、「所蔵参考図書目録」の性格をもっており、編者はこれの完成を基礎として更にいわゆる「邦文参考書総覧」の計画を胸に秘めていることがうかがわれます。(注1)

その後、昭和4年に前書に歴史や叢書を加えて『参考図書目録』として一誠堂書店が発行し、更に『昭和六年訂正改版邦文参考書目録』として版を重ねていますが、47ページほどの小冊子の域を出ていません。

また、これと時を同じくして二冊の参考図書目録が発行されました。一つは神波武夫氏『基本的参考図書目録』で、青年図書館員連盟(大阪)から発行されました。これは所蔵目録ではなく、本邦で発行された参考図書(要覧、書目、法規、統計、人名録、辞書、索引、年表、年鑑、地図、図譜類)を編じたもので、今日の『日本の参考図書』の嚆矢となるものであろう。他の一

冊は田中敬・毛利宮彦共著による『内外参考図書の知識』で、図書館事業研究会(東京)から発行されました。本書ははじめての解題目録となっており、洋書も収録しています。(注2) あわせて「参考書の本質と利用法」(田中敬)「参考事務の組織と内容」(毛利宮彦)の二篇の解説をくみ入れ、利用者、図書館員両面の積極的な利用法を説いています。数百点を収録しており、参考図書総合目録の形態をととのえてきています。

一方、波多野氏による「総覧」プランは、弥吉光長氏が昭和4年末にその企画を引受け、細谷重義、宮沢泰輔両氏の協力で原稿を完成しています。ところが1,000部の解題企画が実に10,000部に膨脹、ために出版のめどがたたず、いく度かの原稿の削除、加筆をくり返し、ようやく昭和9年に朝日書房から『研究調査・参考文献総覧』となって刊行のはこびとなっています。本書は日比谷図書館、帝国図書館の蔵書を中心とし、駿河台図書館その他の図書館の蔵書も加えた参考図書総合所蔵目録ともいべきものです。古代から昭和7年までの日本の参考図書に関しては、できるだけ広く集め、解題を加え、雑誌も一部収録しています。それに外国書誌総覧を加え、付録として「参考文献とその利用法」「図書目録の見方」を解説し、索引を付した文字どおり日本の参考図書総覧として、10,000点を収録した最大の参考図書目録として、現在でもその利用価値を失っていません。

昭和16年3月に東京市立駿河台図書館所蔵の『参考図書目録』が駿河台図書館調査資料として東京市役所から刊行されました。一館所蔵の参考図書目録として刊行されたこの目録は、昭和6年の日比谷図書館『邦文参考図書目録』いらい十年を経過して

いるだけに、その増補改訂が望まれていた
ので、とりあえず駿河台図書館所蔵のもの
のみについて編集発行されたものです。つ
づいて日比谷図書館についても発行される
予定であったと推定されますが、これは戦
前には実現をみていません。本書は前述の
ように駿河台図書館所蔵(内田文庫を含む)
の和漢書について、各部門の基本的参考図
書を収録したもので、市立図書館図書分類
表によって排列されています。ただ惜しま
れるのは、当然収録されなければならない
統計書、年鑑その他が時局上削除を余儀な
くされているのは、戦時統制下にあつては
止むをえない当時の情勢を物語っていると
いえるでしょう。紙質も悪く、目録の生命
ともいうべき索引すらついていません。

太平洋戦争の最中である昭和18年8月に
専門図書館協会から『各国文献目録集成・
第一輯・欧文総合統計年鑑篇』が市政専門
図書館の編集で発行されました。これは市
政専門図書館、三菱経済研究所など有力な
専門図書館関係団体12機関の協力をえた最
初の総合所在目録として注目されます。

戦後最初に発行された参考図書目録は、
旧帝国図書館のR函を母体とした『参考係
備付参考図書目録』(国立図書館調査部参
考係)であろうか、昭和23年8月現在で編
集された孔版刷24丁の小冊子でした。これ
は主として事務参考用として編さんされた
ものです。

昭和30年に国立国会図書館発足7年目に
本格的な『国立国会図書館(中央館)参考
図書総合目録』が発行されました。この
目録は昭和23年に同館が創立された関係上、
同年以後に刊行されたものが大部分を占め
ており、また中央館のみの目録であるの
で、他日支部上野図書館、支部静嘉堂文庫
や行政司法各部門の支部図書館のものを収

録して参考図書総合目録を完成させる計画
があつたが、これは実現するまでに至りま
せませんでした。しかし5,738点を収録した総
合目録としてその利用価値は大きい。

つづいて昭和32年に、人事院ビル内に存
在する5図書館が参考図書の相互利用を図
るため総合所在目録を発行しました。戦後
複数館の所蔵所在参考図書目録として発行
された最初のものであろう。同年、公共図
書館でも『江東ブロック参考図書総合目録
No.1』が発行され、昭和30年代以降、公
共図書館、大学図書館、専門図書館とあい
次いで所蔵参考図書目録の刊行をみるよう
になりました。

昭和36年、「国立国会図書館参考図書総
合目録 1961年版」が企画され、前版の改訂
増補計画がありました。ちょうど新館移転
の年でもあり、新館における各参考室備付
参考図書の所在リストとして、また未収参
考図書のチェック用にと計画されていま
しが実現しませんでした。その理由の一つ
と考えられるのは、同時に『日本の参考図
書』刊行の動きがあつたからと思われま
す。国立国会図書館が新館に移転した翌年
その初版が国際文化会館によって刊行され
ました。本書は解説するまでもなく、参考
図書を選択するうえの指針となる解題目録
であり、昭和40年に改訂版、追補リスト
(昭39.9~41.3)、四季版、補遺版(昭47)を
刊行し、現在は国立国会図書館が編集を引
きついで日本図書館協会より刊行され今日
にいたっています。これは国立国会図書館
を中心に収録しており、所蔵参考図書目録
的性格をも持っています。

(注1)『……更に他のものをも採輯せる所
謂「邦文参考書綜覧」ともいうべきもの
については、第二段の計画として編者の早晩
着手せんと欲しているところである。それ
には勿論本目録の缺を補い、解題などをも

附し、出来得るだけ、参考書目録としての全価値を発揮せんことに努め度い考えである……』(同書、波多野氏の序文より)

(注2) 洋書の部は“Guide to Reference Books by Isadore Gilbert Mudge, 1929”の抄訳紹介である。

II その編成と種類など

前述でみるように、参考図書目録と各館の所蔵参考図書目録は、互にあい補う形で今日にいたっており、厳密に区別しえない場合が多いようです。そこで本稿では当館所蔵の参考図書目録を中心に、必要に応じてその性格をもつ目録類も記録してゆくこととします。

現在までに刊行された「所蔵参考図書目録」を概観すると、それぞれの館の実状によってその編集に苦心のあとがみられます。これを図書館側の立場からみると、

- ①備付場所別目録として〔参考室・閲覧室・書誌コーナー・分館・分室等の〕
- ②参考事務の能率化を図るため〔書誌業務の参考リスト・自館業務の手引書・レファレンスツール・増加するレファレンスサービスに対処する・能率促進等〕
- ③収書業務の参考として〔館の蔵書構成の参考・収書の基礎材料・収書計画の参考資料・文献収集のため等〕
- ④参考図書の相互利用のための所在目録として〔図書館内のネットワーク〕
- ⑤参考図書の利用指導〔文献資料の検索に未熟な学生に対して教官がその利用を指導するため〕
- ⑥参考事務の研究資料・研究集会の資料として
- ⑦その他、多方面の要求に即応するためまた、利用者側の立場からみると、

①図書館利用の便のため、所在を知るため

②地域図書館、学校図書館の利用を促進するため(参考事務のネットワーク)

③無駄な労力をはぶいて、短時間で必要な参考図書を探しだすため

④既存の体系にとらわれない利用しやすい編成の目録として

などの刊行目的をもっており、その形態は次のような種類にわけられます。

- ①単一館の目録——さらに分館、分室、独自のものとこれらの総合目録
- ②文献の所在から——参考室別、参考課、コーナー別の備付目録
- ③収録文献の内容から——総合的所蔵目録、選択的所蔵目録
- ④刊行形態から——単行本、パンフレット、逐次刊行物の特集、館報の一部
- ⑤刊行の頻度から——定期的改訂、年度ごと発行とその累積版
- ⑥複数館の目録——地域図書館総合目録、同一館種総合目録
- ⑦記述の内容、形態から——リスト式、一覧表式、解題式

いままでに刊行された「所蔵参考図書目録」の大部分は、いずれも図書館分類目録、日本目録規則等による型にはまったものであります。そのなかにあつて、既存の分類形態にとらわれないメモの発想によるものなど、利用者の便を考えた編集形態がとられている参考図書目録があります。作成労力も少なく、一覧性が加味されるなどの利点があり、利用価値が高いと思われまふ。ここに東京都目黒区立守屋図書館、麗沢大学図書館の例をあげておきます。

守屋図書館——「近年における社会の変化は複雑かつ急激に推移しております。そ

してこのことを示すが如く、その情報量も個人をしては捕捉不可能なほど庞大であり、日々新たにはき出されております。図書館が利用者の要請にこたえ、その“とき”に応じた資料を整備することは、図書館の使命であります」（序文）と述べ、利用者が読書、調査、学習の参考によりはやく適切な資料をさがす便宜をはかるため、その排列を親しみやすく、図書のもつ形態、役割上の類似により、14の項目にわけているのが特色である。そして利用の方法をわかりやすく図示しています。

麗沢大学図書館——1973年1月に「参考図書解題シリーズ1」として『一般書誌・索引』を刊行した。このシリーズは利用者（学生）に参考図書の利用方法を指導するガイドブックとして発行したものである。したがっていろいろな調査・研究をする場合の資料の選択・判断の手がかりとなるよう、同館所蔵の参考図書群のなかから主なものを選んでかんたんな解題を付している。特に「用途別書誌一覧」「書誌比較一覧」「収録年代別書誌一覧」など一覧表形式で学生に書誌の特長を体系的にとらえてのみこませるよう配慮された編集は、18ページにみるとおり、かゆいところに手のとどく指導の所蔵参考図書目録として、大学図書館における目録の一つのあり方として特記しておきます。このシリーズは人名辞典等続刊されるようで、太いに期待したい。

III 各館の所蔵参考図書目録

ここにリストしたものは各館の「所蔵参考図書目録」およびこれに準ずる目録であります。各館の「所蔵参考図書目録」は、主として参考業務の経験から、その必要に迫られて業務の合間に作成される場合が多

いようで、そのため定期的に刊行することがむづかしく、経費も予算化されない場合が多いようです。これを補うため、館報などに「所蔵目録」を特集、専集する傾向が見られ、その一つに「所蔵参考図書目録」が取り上げられる場合があります。また所蔵目録の編成されていない中小図書館などで「所蔵目録」刊行までの臨時的目録として刊行される場合もあります。

（記載は図書館名、書名、編者、刊年、発行所、ページ、請求記号、説明の順）

1 戦前の部

東京市立日比谷図書館

邦文参考書目録(未定稿) 昭和2 36p.
(337-458)

日比谷図書館所蔵参考図書のうち基本的参考書である辞書、書目、索引、地図、年表、歴史、人名録、年鑑、統計、法規等をもうら、書名索引

岡山県立図書館

参考書目録 昭和3

東京市立日比谷図書館

参考図書目録 昭和4 一誠堂書店

「邦文参考書目録」（日比谷図書館・昭和2）に歴史や叢書を加えたもの

東京市立日比谷図書館

昭和6年訂正改版 邦文参考書目録 昭和6 47p. 一誠堂書店

東京市駿河台図書館

参考図書目録 東京市役所 昭和16
35p. (R028-To46㉵)

(東京市立駿河台図書館調査資料第6)

約1,700点を収録

専門図書館協会

各国文献目録集成 第1輯 欧文総合統

計年鑑篇(洋) 市政専門図書館編

昭和18 273p. (R028-Se69㉵)

表 2 書 誌 比 較 一 覧

A 和 書 の 書 誌

(注 1. ㊦は参考図書
注 2. 文献番号は解題につけられたものと同一である。)

文献番号	書 名	収録期間	内 容・用 途	配 列	記 載 項 目				索 引	書誌の種類	所 蔵	備 考
					出版社	出版年	価 格	解 題				
No. 1	出 版 年 鑑	1950+	1年間の市販出版物 (雑誌を含む)	分 類 順	○	○	○	×	書 名 索 引 著 者 索 引	販売書誌	1952年版よりあり、 ㊦025.1-Sh99	'71年の出版物は、 '72年版にのる
No. 2	出 版 ニ ュ ー ス (旬刊)	昭21 (1946)+	新刊書の調査 (市販のもの)	分 類 順	○	○	○	×	ナ シ	新刊速報	事務室受入係 にあり	書評、新刊予告も あり、1年間累積 したものが「出版 年鑑」となる
No. 3	納 本 週 報 (週刊)	昭36 (1961)+	新刊書の調査 (官庁刊行物を含む)	官庁出版物 ……機関別 市販出版物 ……分類順	○	○	○	×	ナ シ	新刊速報	事務室受入係 にあり	
No. 6	全日本出版物総目録 (年刊)	昭23 (1948)+	図書、定期刊行物の 官庁刊行物を含めた 調査につかう	No. 3 「納本週報」に 同じ	○	○	○	×	書 名 索 引 誌 名 索 引	全国書誌	昭和33年版の みあり、 ㊦025.1-Ko49	出版が3年ぐらい 遅れるのが難点で ある
No. 5	日本総合図書目録 (年刊)	昭33 (1958)+	市販図書の在庫目録	分 類 順	○	×	○	×	書 名 索 引		最新版 事務室にあり	新刊書店よりの入 手が可能かどうか の手がかりとなる
No. 7	国立国会図書館蔵書 目録 昭22-33	昭23 (1948)- 昭33 (1958)	戦後の出版物の調査	分 類 順	○	○	×	×	各巻に著者索 引書名索引は 別冊である	蔵書目録	㊦029.1- Ko49	5分冊
No. 8	国立国会図書館蔵書 目録和漢書の部 昭和34年版一	昭34 (1959)+	戦後の出版物の調査	分 類 順	○	○	×	×	書 名 索 引	蔵書目録	㊦029.1- Ko49c 34, 35, 36年 版のみ所蔵	

市政専門図書館、三菱経済研究所、日本銀行調査局、大蔵省文庫、商工省鉱山局、東京商工会議所図書館、協調会図書館、満鉄東亜経済調査局、大原社会問題研究所、司法省調査部司法研究室、東洋文庫、横浜正金銀行で所蔵している統計年鑑類 2,403点の総合所在目録。所蔵機関を略号をもって示し、書名索引を付している。

2 戦後の部

官公庁図書館

国立図書館調査部参考係

参考係備付参考図書目録 昭和23年8月現在 24丁 孔版

国立国会図書館

国立国会図書館(中央館)参考図書総合目録 昭和29年6月末現在 一般考査部編 昭和30 410p 孔版 (028-Ko548 s)

館の考査業務に資するため、中央館各所に閲覧用・事務用として昭和29年6月末現在備えつけられている参考図書を総合収録したもの。昭和23年に国立国会図書館が設立されたため、同年以後に刊行されたものが大部分を占めており、将来は支部上野図書館、支部静嘉堂文庫、支部東洋文庫、大倉山文化科学財団、各部門支部図書館の参考図書をもうらした総合目録とする企画であったが実現にいたらなかった。和4,789種・洋949種 計5,738種 NDC6版(和) DC(洋) 著者(書名)索引 件名索引

国立国会図書館参考書誌部

「参考事務」全国研究集会資料集 第1～5 昭和41 5冊

第1「日本の参考図書」所収以降刊行主要参考図書目録(総記及び人文科学

部門) 20p 昭和40年末までに刊行された和書

第2 法律・政治関係のレファレンスブックについて 6p

第3 経済・社会関係の書誌について 付レファレンスに役立つ統計資料一覧 8p

第4 科学技術関係レファレンスブック(和・洋) 28p

第5 アジア・アフリカ関係基本参考図書目録

いずれも国立国会図書館所蔵資料の目録であり、すべてをもうらするものでない。

〔注〕 研修会資料・研究集会資料として刊行されたものは他にも存在するが事務用として少数しか発行されないので省略する。

人事院ビル内図書館連絡協議会

参考図書目録 I～II 昭和32 2冊 孔版 (Y95(72)1003)

人事院ビル(現霞ヶ関合同庁舎2号館)内の5図書館が収蔵している参考図書の総合目録で、ビル内利用者の便を図った目録。人事院図書館、警察庁図書館、自治庁図書館、経済企画庁図書館、建設省図書館の所蔵を一覧表形式で収録。

I 年鑑・年報・統計類(昭32.10.1現) 43p

II 辞典・便覧・要覧類(昭32.12.1現) 100p NDC 和洋別 索引なし

農林省図書館

農林省図書館参考図書目録——辞典・事典・便覧・ハンドブック類—— 昭和41 70p

図書館資料利用の便のため、所蔵参考図書のうち、基礎的な文献を選択収録。昭和20～40年に収集したものに、若干戦前のものを加えてある。和洋別。NDC 当用漢字に改めてある。索引なし。

北海道総務部行政資料室

資料目録 No.1 BA総記 1970.12.

現在 未定稿 昭和46 125p

(UP111-52)

行政資料室所蔵目録の一つであり、そのNo.1は総記を収録、北海道行政資料管理規程の分類により参考図書と報道(新聞)を収録している所蔵参考図書目録である。書名索引。

公共図書館

埼玉県立図書館

埼玉県立図書館参考資料目録 I 書誌目録 昭和44 66p タイプ孔版

NDCによる目録では、すばやく、適確に必要な資料を求めることができない場合があるので、参考事務係は自分たちの経験から、使いやすい別の目録を作成している。これはもちろん正規の目録ではなく、いわゆるツール(資料検索用具)のひとつとして作成したもの。このようなものは利用者の目的にも合致し、目録作成の労力も少なく、かえって一覧性も加味され使いやすいので手はじめとして刊行したもの。統計書、名簿、図集と続刊予定。書名索引。

東京都品川区立図書館

主要参考図書案内 人文科学版(予備版) 昭和40 60p タイプ孔版

所蔵参考図書のうち文学を除く人文科学の一部を、その特色、利用法を解説しつつリストした目録。所蔵参考図書をフルに活用して区民の生活向上に資することを目的とし、あわせて職員の資料についての十分な知識をもたすテキストとする。予備版であり改訂予定。

江東ブロック公共図書館研究会

江東ブロック参考図書総合目録 No.1

辞書類之部 昭和32 24p 付・新聞雑誌総合目録

東京の江東地区(江東、江戸川、足立、墨田、葛飾の各区)の公共図書館10館が相互協力による図書館奉仕を目的として作成した総合所蔵目録。一地域の総合目録としては他に例がない。その第1集として辞書類817点と新聞雑誌310タイトルを収録している。読書週間の記念出版。

東京都立日比谷図書館

東京都立日比谷図書館蔵参考図書目録

一和書一 昭和38 280p

(028-H426 s)

40万冊ある同館の所蔵目録に手がつけられないのでレファレンス担当者の要求でまず本書が計画された。しかし予算の関係で校了から一年経過して刊行された。3,030点収録。NDC新訂6版。書名索引。

東京都立日比谷図書館

東京都立日比谷図書館蔵参考図書目録

一洋書一 昭和38 79p

(028-H426 s)

和書篇と同時に約870点の参考図書を収録し昭和38年1月現在で発行。NDC新訂6A版 書名索引。

東京都立豊島図書館

参考図書目録 1965 No.1 昭和40

107p (Y121)

調査研究のための図書資料の中核となるものとして作成。適切な参考図書の不足している分野では、本来参考図書ではないが代用できるものを収録。NDC。2290点。

東京都目黒区立守屋図書館

参考図書目録 1973 昭和48 101p

(Y121)

利用者の読書、調査、学習の参考によりはやく適切な資料を探す便宜をはかる。一般参考図書2,132タイトル。全体の図書のもつ形態・役割上の類似により、14項目に分類。さらにNDCにわけ。和洋混合。索引なし。

神奈川県立川崎図書館

参考図書目録 1968 昭和44 245, 39p (UP41-3)

自然科学・工学が中心。一般読書室用和漢書の中から約3,800タイトル収録。NDC6A版 書名索引(訓令式)

静岡県立中央図書館

年鑑・目録・名簿・法令類目録 昭和48 51p (資料情報10号)

昭和48年3月現在の所蔵目録で書名のあいいうえお順排列。巻末に分類別の一覧を付している。通常行なわれているものの逆の編成をとっている。静岡県内のものおよび、一機関一団体のものは除く。

静岡県立中央図書館

辞典・事典一覧 昭和48 48p (資料

情報11号)

明治以降、昭和48年5月末現在、館所蔵のものを収録。NDC7版 和洋混排

静岡県立図書館のように逐次刊行物の特集・専集の形で発行されるケースは今後ふえるものと思われる。

愛知図書館

参考図書目録 1965—1974 愛知県文化会館図書館 昭和40—49 10冊 タイプオフセット (UP41-1)

利用者の立場からの利用の便と、レファレンスサービスの面から昭和34、5年頃から企画し、開館5周年を機会に発刊したもので、1年ごとに追録版を発行し、5年目に追録版を累積して発行している(下表および次ページの表参照)。現在まで定期的に刊行をつづけている唯一の参考図書目録である。「参考図書の解題」(弥吉光長)序説の分類を基準とし、「資料整理要領——分類目録篇」(愛知図書館)によって編集している。和洋別、書名索引。

	発行日	頁	収録範囲	収録冊数	備考	
1965	昭40. 2. 10	509		5,410	{ 和4,753 洋 657	
追録(1)1966	昭41. 2. 28	85	昭39. 10. 1 ~40. 9. 30	1,215	{ 993 222	
追録(2)1967	昭42. 1. 15	98	昭40. 10. 1 ~41. 8. 31	1,393	{ 1,195 198	
追録(3)1968	昭43. 2. 15	87	昭41. 9. 1 ~42. 9. 30	1,169	{ 1,037 132	
追録(4)1969	昭44. 2. 15	80	昭42. 10. 1 ~43. 9. 30	1,021	{ 833 188	
1970 (1966~69, 70 年の累積版)	昭45. 3. 1	220	1965年版から追録1~4と昭和43. 10. 1~昭44. 8. 31までを収録	3,315	{ 2,773 542	(1)
1971	昭46. 1. 10	76	昭44. 9. 1 ~45. 8. 31	598	{ 539 59	(2)
1972	昭47. 1. 10	64	昭45. 9. 1 ~46. 8. 31	775	{ 725 50	(3)

	発行日	頁	収録範囲	収録冊数	備考
1973	昭48. 1. 10	66	昭46. 9. 1 ～47. 8. 31	769	706 63 (3)
1974	昭49. 1. 10	133	昭47. 9. 1 ～48. 8. 31	904	834 70 (3)

- (1) 前年版までと異なる点は、継続図書については利用の便を図り1965年版収録図書を含めて収録したが、追録1～4のうち除いたものもある。継続予定のものは「→」を付し、郷土資料は「090」へ一括区分してある。
- (2) 継続受入図書433点(和389 洋44)は巻末へまわして利用の便を図っている。
- (3) 継続受入図書を本版より除外した。

滋賀県立図書館

参考図書目録 第1～2集 昭和41—42 2冊 (Y121)

増加するレファレンスサービスに対処するため。館所蔵の参考図書は網羅されている(版の重複は除外)。843点。
(第2集は文学全集叢書篇)

富山県立図書館

富山県立図書館所蔵参考図書目録
昭和35 44p タイプ孔版 NDC
約1,500点3,000冊

大阪府立図書館

参考事務必携 資料編 昭和49
511p (UL731-6)

昭和46年に刊行された参考事務必携を補うものとして資料編が発行された。同館所蔵資料のうちからレファレンス一般に必要な参考図書類を必要に応じてかんたんな説明を加えつつ収録したもの。図書のほか、図書の一部に記載された事項についても収録されているのが特長。昭和48年3月末までの受入分から約8,800件収録。総記、人文科学、社会科学、自然科学、人物・団体(施設)の5部から構成され、その中をさらに資料の共通の型式に区分している。

吹田市立図書館

吹田市立図書館所蔵参考図書目録
昭和44 86, 21p (Y121)

利用者への案内、今後の収集の基礎として、自館業務の手引として昭和42年3月の新築移転を契機に多方面の要求に即応するため刊行。参考図書の範囲を広げ、部分的に参考図書として役立つ全集・双書等の特定の巻や別冊付録であっても、参考図書として活用できるもの、一般書でも巻末に必要な参考図書の紹介・統計・年表などのあるものは収録。蔵書目録類を割愛しているがその理由不明。
NDC 新訂7版 和洋混合 書名索引。

山口県立山口図書館

参考図書目録 I 総記編 II 書誌索引辞書事典編 III 報告・統計・年鑑・年表・名簿編 昭和45—49 3冊 (UP41-6)

県内利用者のため来館せずとも所在がわかるよう冊子にまとめたもの。当然必備の書が欠けているのでこれを発見補充するため。所蔵参考図書のうち総記編(除全集)(第1集)、総記編以外の書誌・索引等(第2集)、報告・統計・年鑑等(第3集)にわけ、5年をかけて刊行した。第1集 和洋別 NDC6版 書名(和洋)・著者名(和)索引。第2, 3集 和洋混合 NDC6版 形式別と分類目録。
書名索引(和洋別)。

高松市立図書館

郷土資料参考図書 蔵書目録 昭和31 32p 孔版
郷土資料約320点、参考図書約450点

福岡県文化会館

福岡県文化会館所蔵参考図書目録(稿)
昭和46 45p (Y121)

常に参考図書の整備に心がけており、レファレンスコーナーと付属書庫内に別置された参考図書を、自然科学・工学・産業部門を除いて刊行したもの。従来商工資料室、産業資料室として自然科学、工学・産業部門の参考図書がその部屋で扱われていたものを昭和45年7月から公開図書を一括し、大部屋制をとり、参考業務をレファレンスコーナーに一本化したのを機会に刊行したもので、自然科学部門の目録が望まれる。NDC7版 和洋混合 索引なし

大学図書館

北海道大学附属図書館

北海道大学附属図書館所蔵参考図書目録
和書編 昭和38 171p (028-H616 s)

レファレンスサービスの能率促進、文献探索の指針、文献収集のため。中央館所蔵分のみで将来北大全体の参考図書目録刊行の基盤。総記・人文科学・社会科学・科学技術に分類。索引はないが、「この目録の活用については特に巻頭目次に留意し利用してほしい」(凡例)と述べている。

Hokkaido Daigaku Huzoku Toshokan

Catalog of reference books in foreign language (北海道大学附属図書館所蔵参考図書目録) 昭和38 61p
(016-H721 c 洋)

中央館の所蔵分のみ収録。将来全学の総合参考図書目録刊行の基盤とするため。北海道に関するものは割愛、総記・人文科学・社会科学・科学技術に分類。索引なし。

東北大学附属図書館

本館所蔵人名辞書類総目録(予備版)
一和漢書一 矢島玄亮編 昭和41 155p
孔版 (参考資料第69号)
(280.3-Y642 z)

宮城教育大学附属図書館

参考図書目録 附属図書館蔵 昭和48
61p (Y95(73)-675)

NDC新訂7版 和洋別

茨城大学附属図書館

参考図書目録 昭和48 210p
(UP41-14)

昭和48年2月現在で本館、工・農両分館所蔵参考図書6,055点(教室備付の分は図書館で所蔵しないものに限って収録)。原則として所蔵のすべてを収録。NDC。本館、工・農分館別。和洋別。索引なし。

群馬大学附属図書館

群大所蔵参考図書総合目録 和文編
昭和35 84p

本館、分館、研究室で所蔵している全参考図書を収録。1,386点。NDC6版(100区分)

千葉大学附属図書館

参考図書目録 附属図書館蔵 1972年版
昭和47 280,55p (UP41-8)

研究、教育のための参考資料(レファレンスツール)。特に文献資料の検索に未熟な学生に対して教官がその利用を指導するためと、昭和45年度から共通基本図書の前算が配分されているので、今後の収書計画を立てる上に参考資料とする。昭和46.6現在。本館と医学部・園芸学部・腐敗研究所各分館備付け参考図書を収録。NDC新訂6A版

千葉大学附属図書館

図書館で学ぶために 昭和49年度 昭49

135p (Y95(74)758)

学生のために大学図書館の利用のしかたを解説した案内書。図書の利用法、レファレンス・ブック、レファレンス事例、文献目録作成法、学外図書館の利用方法からなっているが、そのほとんどをレファレンスブックの体系的解説目録に費している点の特長である。利用案内と参考図書目録とを組み合わせた意欲的なガイドブック。

日本私立大学協会

日本参考文献所在目録 第1—2回 昭和38—39 2冊 (関司団研資)
(028-N688n)

日本私立大学協会の大学図書館司書研修会討議資料として昭和38年に25大学図書館所蔵参考図書を収録、翌39年に第2回目を刊行。89大学図書館が参加した。

日本私立大学協会

参考図書所在目録 1968 和文編 参考図書所在目録編纂委員会 昭和43
460, 81p (UP41-4)

1965年7月現在で137の私立大学図書館に所蔵する和文参考図書の総合目録。自館が適当な参考図書がない場合、どの館がどのような参考質問に答えうるかを知り、敏速な奉仕活動を可能にする各館の相互協力体制促進のため。国立大学および私立大学の大きなところは参加していない。書名索引。

東京学芸大学附属図書館

参考図書の手引き 1—6号 昭和39—42 タイプ孔版

第1号 参考図書の利用法

第2号 世界の百科事典

第3号 辞典 そのI (国語関係)

第4号 辞典 そのII (英語関係)

第5号 辞典 そのIII (ドイツ語関係)

第6号 辞典 そのIV (ヨーロッパ諸国語)

第7号 専門事典 そのI

第8号 専門事典 そのII

第9号 専門事典 そのIII (人名)

それぞれの参考図書について解題し、第2号、第3号では大学図書館所蔵一覧表を付けている。

日本女子大学図書館

日本女子大学図書館所蔵参考図書目録
和書篇 昭和48 110p (UP41-12)

レファレンスコーナー7,000冊のうち約5,000冊収録。研究室図書、通信教育用図書は除外。一般参考図書、書誌の二部にわかれている。

独協大学図書館

参考書目 1971—1973 昭和46—48
3冊 年刊 (Y95(71)1185)

「参考図書室」備付図書、「書誌コーナー」備付図書、継続受入雑誌新聞目録、叢書全集講座一覧。毎年改訂。NDC。索引なし。

麗沢大学図書館

参考図書解題シリーズ 1 一般書誌・索引 昭和48 67p (UP41-11)

麗沢大学図書館所蔵の主要な一般書誌類を中心として、学生が図書館を利用する上に資料の選択、判断の手がかりとなるよう、参考図書群の中から主なものを選び、かんたんな解題を付して利用上の参考資料またはガイドブックとして役立てるよう企画された。続刊予定：②人名辞典、③百科事典・年鑑・地図・地名辞典、④日本語辞書、⑤英語・英文学、⑥ドイツ語・ドイツ文学、⑦中国語・中国文学。収録は図書、逐刊で1972年12月1日までに出版された44タイトル。和洋逐刊別。改訂頻度3～5年に1回。

名古屋大学教養部図書館

参考図書目録 (開架) 昭和46
103, 72p

書誌書目はできるだけはぶき、参考図書の機能を有する図書を含めている。「日本の参考図書 昭和42年版」により分類。1, 152点

関西大学図書館

関西大学所蔵参考図書目録 欧文篇第1版 昭和35 222p (関西大学図書館シリーズ No. 5) (016. 025-K16 c)
(Catalogue of Reference Books in European Languages in Kansai University)

昭和34年3月現在関西大学図書館(千里山本館)所蔵の約2600点を収録。Generalia, Human & Cultural Sciences, Social Sciences, Natural Sciences に分類。著者・書名・件名索引。

鳥取大学附属図書館

参考図書目録 初版 昭和48' 51p
タイプオフセット (UP111-141)

昭和48年9月現在の本館、医学部分館所蔵本。抄録誌は研究所蔵のものも加えている。第14回中国四国地区大学図書館研究集会の研究資料として作成。200部発行。NDC7版。和洋別。索引なし。

専門図書館

日本放送協会総合放送文化研究所

世論図書室

参考図書目録 昭和47 145p タイプオフセット (UP41-7)

放送関係文献分類表によって収録(一般書はNDC新訂7版)。解題目録。昭和47年1月現在所蔵参考図書1,067タイトル(和812点, 洋225点)を収録。書名索引。

電力中央研究所

電力中央研究所所蔵参考図書目録 1959, 1961, 1964年版 昭和34~39 3冊
(028-D53 s)

各所の資料担当者をもって情報活動をより活発にする打合せ会をもち、目録の作成、文献利用の高度化、業務の能率化などについて意見・情報を交換する一方、これを具体化するよう努力しており、その活動の一所産としてこの目録が生れた。電力中央研究所技術研究所資料課、農電研究所図書室、電気事業研究会資料室に所蔵されている参考図書と1193点洋369点(1964年版)を収録。形態別索引。和洋相互に編成。NDC新訂6 A版。電気事業、原子力工業部門は各事業所独自の分類。

日本国有鉄道鉄道図書館

参考図書目録 和書の部 昭和39 55p
全般にわたり必要と思われるもの約1,000点。NDC新訂7版。ただし交通・鉄道は独自の分類

日本国有鉄道鉄道図書館

鉄道図書室蔵参考図書目録(その1)
昭和40 100p

必要と思われるもの約1,580点。NDC新訂7版。ただし交通・鉄道は独自の分類。

東京商工会議所商工図書館

統計及び年鑑類目録 昭和34~47年度
昭和35~48 14冊 (Y95)

昭和34~39年度のタイトルは「統計書目録」であるが、年鑑類も含まれている。

東京ゲーテインスティトゥート

〔東京ゲーテインスティトゥート・東京ドイツ文化研究所〕参考図書目録 昭和48 95p (No.16 Nachschlaqewerke)

(KS331-1)

東京ゲーティンストリート所蔵の参考図書約700点を収録。A～Yまで21項目に専門別に分類。事典・辞書・住所録・人名録および書誌、各論の項も索引・豊富な文献を備えているかぎり収録してある。年間2冊ずつ項目別型録を発行しているが、1973年第1号“文芸”につづいて第16号として刊行された。

付

参考図書目録を作成するうに参考となる参考図書選定目録・基本目録類、レファレンスコレクションを構成するうに参考となる基本参考図書目録類と、本稿作成上参考となった参考図書目録等の一部を参考までに掲げておきます。

国立大学図書館協議会

参考図書選択目録 1967 国立大学図書館協議会参考図書の基準調査研究班
昭和45 107p

世界主要国において、1967年中に出版された参考図書を日本の大学図書館を念頭において選択収録したもの。3,352点収録。分類は4部門19項目、和洋別。価格が入っており購入予算を立てるうに便利である。1966年版も刊行された。

日本私立大学協会

大学図書館に必要な基本参考図書目録
昭和38 63p 孔版 (図研研資料第38.9.25-5) (028-N688 d)

和洋の解題目録。一般書誌・逐次刊行物(北島武彦)自然科学系文献(立川昭二)社会科学系文献(細谷新治)人文科学系文献(三谷栄一)語学関係文献(小林英雄)

東京都公立図書館参考事務連絡会

中小図書館のための基本参考図書 日本図書館協会 昭和43 94p

(028-To458 t)

「区(市)立図書館」の立場から、最低必要な参考図書を現場の状況を勘案して約1,300点を選択収録。NDC。書名索引。巻末に本版将来の増補改訂などのために「ビジブル・カード簿の利用について」がある。

東京都高等学校図書館研究会

高等学校における参考図書目録 昭和47
児童図書館研究会

児童参考図書解題目録(I)—児童百科辞典— 日本図書館協会 昭和40 36p
(028.5-Z252 z)

昭和37年度からの児童図書研究会の継続事業としての第1編として刊行。解題目録。

大阪市立中央図書館児童図書選定委員会

小中学生向き事典と辞典の目録—参考図書選定目録 その1— 昭和42 12p
(Y121)

選定のねらいとして、家庭の参考図書として生活や学習の参考に充分使用でき、こどもが生成してもなお使用に耐えるもの点を解説。

専門図書館協議会

基本図書目録 1972 昭和47 155p
(専門図書館協議会20周年記念出版 No.3)

地方議会図書室に備付けておくべき図書で基準になるとと思われる図書を収録。辞典・年鑑・統計書(485点)等の項がある。昭和36～46刊行図書を対象。索引なし。

波多野賢一

参考書の栞

「図書館研究」(芸艸会)3巻2号,4号,4巻1～2号(大正13—14) 参考図書約100点を収録。

笹岡民次郎

参考図書目録並に定期刊行物索引

大正14 (図書館研究<叢書>号外)

田中敬・毛利宮彦

内外参考図書の知識 図書館事業研究会

昭和4 325p (028-Ta745s)

神波武夫

基本的参考図書目録 青年図書館員連盟

昭和4 42p (553-70)

波多野賢一・弥吉光長

研究調査・参考文献総覧 朝日書房

昭和9 (R028-H42ウ)

日比谷図書館, 帝国図書館蔵書のほか
駿河台図書館その他を加えている。書名
著者名索引。

日本図書館研究会

レファレンス手引—参考係員のための実

務便覧—木寺清一・植岡信夫共著 昭和
29 (図書館界シリーズ1)

(015.2-Ki331r)

「主要参考図書書目」(70-117p)

弥吉光長

参考図書の解題 昭和30 259p

(図書館実務叢書8) (028-Y637s)

日本の参考図書

初版 昭和37年(第1刷) (028-N6872)

昭和38年(第3刷)

改訂版 昭和40年 (028-N6872(s))

昭和44年(第3刷)

追補リスト(昭和39.9~昭和41.3)

(028-N6872)

四季版 No.1~

補遺版 昭和47 (UP41-9)

「日本の参考図書」に現われた年鑑類細目

日本図書館協会 昭和42 73p

(027-Ko5482n)

「日本の参考図書」改訂版に収められ

た年鑑類個々の版歴を調査したもの。

佃 実夫

文献探索学入門 思想の科学社 昭44

161, 137p(付共) 付参考図書評価一覧

(UL731-2)

佃 実夫

文献探索学入門 第2版 思想の科学社

昭46 161, 167p (UL731-7)

天野敬太郎

本邦書誌ノ書誌

間宮商店 昭和8 370p

(025.1-A4345s)

天野敬太郎

日本書誌の書誌

巖南堂書店 昭和48 671p

(UP1-4)

本稿作成にあたって一部の公共図書館等に通信で問合せましたところ、ご親切なご教示をいただきました。誌上をかりてお礼申し上げます。とくに岡山県総合文化センターの村上氏から「岡山県立図書館参考書目録」(昭3)について「戦災で消失し、所蔵していませんが、県内個人所蔵を探したところ一人判明しました。現在病床にあり健康が回復次第倉の中を探してみるから暫く待って下さい」というご返事をいただきました。厚く御礼申し上げます。

<追 補>

近畿大学中央図書館

参考図書目録 昭48.3現在 80, 25p

[昭49] (Y95-(74)) 書名索引

慶応義塾大学図書館

レファレンスサーヴイス月報 Z33-1074

月号受入参考図書目録を掲載

(きたがわ・かずひこ 一般参考課主査)